

公益財団法人ソーシャルサービス協会

第15回評議員会 議事録

1 開催日時 2018年6月27日(水) 午後1時00分～午後3時30分

2 開催場所 全日自労6F会議室

3 評議員 総数 4人

4 出席した評議員数

内訳 本人出席 3人

齋藤眞一 福富保名 宮本禮二郎

欠席者名 廣瀬肇 1人

5 監事の出席 伊藤東一 磯野紀子

6 理事の出席

理事長・神田豊和 常務理事・濱田茂

事務局 事務局次長・秋山明子

7 議 題

議題：第1号議案 議事録署名人の件

第2号議案 第14回評議員会及び第18回理事会以降近々の事業報告の件

第3号議案 2017年度事業報告及び決算書、監査報告の件

第4号議案 2018年度予算(案)の件

第5号議案 内閣府指摘事項の改善の件

第6号議案 評議員および理事、監事の選任、解任の件

第7号議案 次回評議員会開催の件

8 議長等選任および会議成立の定足数の確認

定刻に至り、神田豊和理事長は開会を宣し、濱田茂常務理事が定款20条にもとづき評議員会の定足数を報告した。続いて議長に互選で齋藤眞一評議員を選出し、本日の評議員会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げたあと議題に入った。

9 議事の経過の要領と審議状況及び決議の結果

上記のとおり出席があったので、本評議員会は適法に成立した。

10 齋藤議長から議事録作成人についての提起があり、濱田茂常務理事を全体で承認した。

第1号議案 議事録署名人の選出の件

齋藤議長から指名により神田理事長が第1号議案である議事録署名人に議長の齋藤眞一評議員、評議員の福富保名、宮本禮二郎の両氏を指名した。

議長はその賛否を問うたところ、満場異議なく承認を受けた。

第2号議案 第14回評議員会及び第18回理事会以降近々の事業報告

齋藤議長からの指名により、濱田常務理事が第2号議案である第14回評議員会及び第18回理事会以降近々の事業報告をおこなった。第18回理事会の議事録にもとづく報告につづいて、第17回部門部長会議について、従来の3部門部長会議に収益部門として玉田哲雄氏を加えて部門部長会議とし、その任務も「各事業所の運営、財務などについて分析し、適切なアドバイスをしていくことにした」と報告された。本部所有の貸室について5月に退出があるが6月にはあらたなテナントを確保できたこと、協会だより5月号「No. 23」の発行などについてふれ、6事業所が月報を提出していることが報告された。この中で、多摩支所の入所者のこの間の変遷についてグラフになったものが紹介され、経営改善のための取組みが報告された。磯野監事より2018年度の事業所監査及び本部監査の計画が報告された。秋山事務局長から、各事業所の法人税、消費税について報告がされた。濱田常務理事から2017年度の高齢者雇用状況についてつづいて、内閣府からの通知について報告がされた。神田理事長から、5月16日午後に行われた評議員会選定委員会で次期評議員候補者と補欠評議員が議決されたことが報告された。

議長は第2号議案の報告についてその承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

第3号議案 2017年度事業報告及び決算書、監査報告の件

齋藤議長からの指名により、濱田常務理事から2017年度の実績報告、及び決算について報告がされた。

2017年度の結果は

◎経常収益	424,413,817円	経常費用	445,114,061円	=	-20,700,244円
◎資産の部	期首 307,879,714円	期末	280,563,731円	=	-27,315,983円
負債の部	期首 72,760,191円	期末	66,548,342円	=	-6,211,849円
◎正味財産	期首 235,119,523円	期末	214,015,389円	=	-21,104,134円

4期連続の赤字、正味財産（自己資本）減という結果でした。3億2千万円の出発時点から1億円の減少。以上の結果を踏まえて、2018年度の予算をやりきるために次のことが必要であることが報告された。

- ・内閣府からの指摘事項の改善に取組み、公益財団として事業を継続していくこと、拡大していくことの意義について全職員が心をひとつにすること。
- ・根拠のある予算を組むこと、指標は前年実績となる。
- ・目標の数量化をし、ジャンプすれば届くハードルにする。達成のための具体化をはかる。
- ・毎月が勝負！ 月次決算を軌道に乗せる（PDCAサイクルの日々実践の検証）。毎月、各事業所で結果を検討して、次月への対策をとる。
- ・全国所長会議開催を重視して、必ず全所長の出席とする。経験の交流、学習、団結をかためる。

ついで、会計士による決算についての「所見」が報告された。それによると事業所への確認チェック事項が41項目あること。改善の取組みはすすんでいるが、「理事会、本部等による各事業所に対する管理が充分でない状況は依然として継続している」とある。

伊藤・磯野監事より決算監査の報告がされた。この中で「2017年度は京都事業所の1,100万円超の特別減

算が大きく影響している。」と指摘し、「月次決算報告は15日までの徹底を図ること、年度末決算に必要な処理や行為等の財団本部から各事業所への通知については、履行が期日までに確認できない場合は、口頭で督促するなど実行を担保すること。」が強調されている。また「今後の問題として、内閣府立ち入り時の改善指摘事項の取り組みに全事業所が団結して取り組むこと。事業所監査での改善指摘事項の点検については、もっとスピーディーにすること」等が報告された。

磯野監事より、京都事業所の特定減算の内容について報告を受けていない。きちんと報告をさせるべきであるという意見が出された。

これに対して、神田理事長より「報告書を提出するように所長へ支持しています」という報告がされた。

議長は第3号議案の提案に対してその賛否を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

第4号議案 2018年度予算の件

齋藤議長からの指名により、濱田常務理事から、2018年度予算について報告がされた。それによると損益目標の全体の集計結果は321万円となっている。法人としての2018年度の必要利益は600万円であり、279万円の未達であること。収入は3億6,580万円、支出は、3億6,259万円となっている。必要利益に届いていないこと、いくつかの事業所で根拠を問いたくなる予算の組み方が見られることから、「第一四半期(4~6月)を終えたところで、下期予算の組み替えが必要だと思われる。この件は、8月の部門部長会議で検討し、組み替えられた下期の予算とする」という提案がされた。

審議の結果、議長は第4号議案の賛否を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

第5号議案 内閣府立ち入り調査での指摘事項への改善の件

齋藤議長からの指名により、濱田常務理事から、内閣府立ち入り調査での指摘事項への改善のとりくみについて報告がされた。1) 資金の本部管理問題については、事業所に3カ月超の費用をストックしておく配慮をして、本部が機能的に動くために、今回、4事業所に本部へ送金をお願いしたこと、その中で6月27日現在、京都事業所から1,000万円、田川事業所から100万円の入金があったこと、ITセンターと福岡事業所は「納得がいかない」ということで拒否していることが報告された。

この件に関して、宮本評議員より、「これまでの経過があるから簡単にはいかないと思う。粘り強く説得していくことが大切だ」という意見が出された。

つづいて濱田常務理事から、6月11日の理事会で承認された就業規則(改定)、常勤役員報酬規程(改定)、印章取扱規程(新規)、臨時職員及びパートタイム職員に関する就業規則(新規)、パワーハラスメント防止規定(新規)について報告された。常勤採用時の本部面接についてはPC会議が出来るよう具体的検討をすすめていくこと、賃金の統一化や退職金問題については、極めて困難な課題であるだけに3~5年かけての課題とし、検討チームを編成して進めていくことが報告された。神田理事長から、労働組合関連の利益相反が問われる役員の入れ替えの検討状況について報告がされた。

議長は第5号議案の賛否を問うたところ、満場異議なくこれを決議した。

第6号議案 評議員および理事、監事の選任、解任の件

齋藤議長からの指名により、神田理事長から、次期役員についての提案がされた。

1. 評議員については5人の定員のうち、齋藤眞一氏より多忙につき退任の申出があり慰留は困難と判断しました。平山博雄氏は3月22日付で退任届が出ており受理しています。次期4年間の評議員の選任は、廣瀬肇氏、福富保名氏、宮本禮二郎氏に新たに高木哲次氏（(企)伊丹雇用福祉事業団理事長）と猪野保正氏（社会保険労務士）を選任します。
2. 理事については、6人定員のうち高橋將治氏が定年退職につき慰留は困難と判断しました。次期2年間の理事の選任は、神田豊和氏、濱田茂氏、柴田和啓氏、角田季代子氏に新たに川手益巳氏（元台東保健生協理事長）、入月孝広氏（元葛飾医療福祉生協専務理事）を選任します。
3. 監事については、2人の定員です。継続してお願いすることになりますが、伊藤東一氏、磯野紀子氏を選任します。

提案名簿は、以下の通り。

公益財団法人ソーシャルサービス協会 2018年度 役員選任名簿

2018年6月27日

◆評議員会			
		評議員	5人
		任期4年 2期目	
氏名	現在法人内職務	備考	
新任	猪野 保正	無し	社会保険労務士
新任	高木 哲次	無し	(企)伊丹雇用福祉事業団理事長
重任	廣瀬 肇	現評議員	全日本建設交運一般労働組合書記長
重任	福富 保名	現評議員	原水爆禁止日本協議会理事
重任	宮本禮二郎	現評議員	北斗企業組合理事長
◆理事会			
		理事	6人
		任期2年 3期目	
重任	神田 豊和	現理事長	NPO建設政策研究所副理事長
重任	濱田 茂	現常務理事	(公財) ソーシャルサービス協会
重任	柴田 和啓	現理事	(株) 東京労働会館取締役
重任	角田季代子	現理事	日本婦人団体連合会幹事
新任	川手 益巳	無し	元台東保健生協理事長
新任	入月 孝広	無し	元葛飾医療福祉生協専務理事
◆監事会			
		監事	2人
		任期2年 3期目	
重任	伊藤 東一	現監事	全日本建設交運一般労働組合神奈川県本部委員長
重任	磯野 紀子	現監事	全日本建設交運一般労働組合長野県本部書記長

議長が選任名簿一人ひとりを読み上げ、その都度賛否を問うて審議を進めた結果、選任された全員が満場一致で決議された。

第7号議案 次回評議員会開催の件

齋藤議長からの指名により、濱田常務理事から次回第16回評議員会の開催について1月18日（金）午後1時～5時の提案がされた。

議長はその賛否を問うたところ、全会一致で決議された。

以上をもって、すべての議案の審議を終了したので、午後3時30分、福富議長は閉会を宣言し解散した。

上記の決議を確認するため、議長および議事録署名人の評議員2人がこれに署名捺印する。

2018年6月27日

公益財団法人ソーシャルサービス協会
第15回評議員会

議事録署名人

議 長 齋藤 眞一 印

評 議 員 福富 保名 印

評 議 員 宮本 禮二郎 印